

第7回 SIRCHS 研究会

Society of Interventional Radiology, CNS, H&N and Spine

プログラム

日 時：平成27年4月17日（金）18：00～20：00

会 場：メルパルク横浜 〒231-0023 横浜市中区山下町16

当番世話人：高山 勝年（医真会八尾総合病院 放射線科）

事務局：奈良県立医科大学 放射線医学教室

SIRCHS 研究会世話人名簿

Society of Interventional Radiology, CNS, H&N and Spine

世話人代表 安倍等思 (久留米大学)
世話人副代表 清末一路 (大分大学)
事務局幹事 高山勝年 (医真会八尾総合病院)

顧問 (アイウエオ順)

吉川公彦 (奈良医大), 興梠征典 (産業医大), 高橋元一郎 (日本大),
沼口雄治 (聖路加国際病院)

世話人 (アイウエオ順)

青木茂樹 (順天堂大)、安倍等思 (久留米大)、飯塚有応 (東邦大医療センター)
石蔵礼一 (兵庫医大)、稲川正一 (新潟大)、今井茂樹 (南東北病院)
清末一路 (大分大)、小林信雄 (聖路加国際病院)、高橋 聡 (秋田大)
高山勝年 (医真会八尾総合病院)、田中法瑞 (久留米大)、谷川 昇 (関西医大)
中川裕之 (奈良県立奈良病院)、中里龍彦 (岩手医大)
長畑守雄 (山形市立病院済生館 脳卒中センター)
松本 恒 (宮城県立がんセンター) 緑川 宏 (青森県立中央病院)

事務局：奈良県立医科大 放射線医学教室

ご 挨拶

第7回のSIRCHS研究会を開催できますことを喜びますとともに皆様からの多くのご支援を賜りましたことを感謝いたします。今回は第6回に引き続き高山先生にお世話を引き受けていただきました。どうもありがとうございました。皆様と集まり実り多き討論ができますように願っています。

本会は放射線医学の中では少数派ではありますが、エキスパートの話を知ることができる貴重な集まりです。中枢神経、頭頸部、脊椎のインターベンショナルラジオロジーに関与されていない先生の参加を期待して始まったといういきさつもあります。異なる分野の考え方を聞いてご自身の分野での活用もできるでしょうし、なぜ、そんなことを気にしているのかを気軽に討論できる会でもあります。

Never Ask, Never In という言葉があります。これは寄付を募るにあたって用いられる言葉で、お願いをしないと寄付は決して得られないと言うことを意味しています。寄付金とは異なりますが、とにかく声を出してみて、それから始まるというところは本研究会に参加した場合には特権的に使っていただきたいと思っています。

どうぞ、皆さんで盛り上げてくださいますよう祈念して、ご挨拶に代えさせていただきます。

SIRCHS 研究会

代表 安陪等思

御 挨 拶

この度、第6回に引き続き、第7回 SIRCHS (Society of Interventional Radiology for CNS, H&N and Spine) 研究会を開催させていただくことになり、誠に光栄に存じております。ここに、ご参加下さる皆様に心より歓迎の意を表し、ご挨拶申し上げます。この SIRCHS 研究会は2008年、久留米大学 放射線科 安陪等思先生、大分大学 清末一路先生、私(高山)の3人が中心となって、放射線科医が携わる機会が減少している中枢神経系の Interventional Radiology (IVR) を発展させることを目的とした研究会であります。できるだけ多くの先生方に参加して頂くために日本医学放射線学会総会に合わせて、総会初日の夕方から研究会を行っています。今回は研究会の最初に「脳神経領域におけるエンボスフィアの適正使用に関する講習会」を開催いたします。講師は清末先生をお願いしております。講習会開催のため、通常の研究会のプログラムよりも演題数は少なくなりましたが、9演題で3セッション(血管奇形、血行再建、動脈瘤)3演題ずつとバランスよく編成できました。発表時間と討論時間は限られますが、是非、若手の先生方にも多く参加して頂き、活発な討論をお願い申し上げます。最後になりましたが、本研究会の開催にご協力・ご支援頂いた会員の先生方、協賛企業の皆様、SIRCHS 研究会事務局に深く感謝致します。

第7回 SIRCHS 研究会

当番世話人

社会医療法人医真会八尾総合病院 放射線科・脳血管内治療科

高山 勝年

ご 案 内

1. 受付

受付は17:30から行います。

参加費：3,000円（懇親会費を含む）

引き換えに領収書をお受け取り下さい

2. 発表

演者、司会の先生へ

1) 開始時間30分前までに受付けで出席をご確認下さい。

2) 各セッションとも発表時間は7分、討論3分です。

時間厳守をお願いいたします。

3. プレゼンテーション

1) プロジェクターを1台準備します。

2) 演者は30分前には接続のチェックをお願いいたします。

また、各自でPCを持ち込んでください。プロジェクターにはD-sub15ピン（汎用のもの）で接続します。MacやVAIOなどでアダプターが必要な方は持参してください。できる限り討論の時間を作りたいと思いますので、演者は時間厳守での発表に留意して下さるようお願い致します。

3) 発表時間は7分、討論3分です。

4. 世話人会

日時：平成27年4月17日（金）17:15～17:45

会場：メルパルク横浜 「Bara」の間（3階）

本会の履歴

第1回	2009年4月17日（金）	ワークピア横浜	当番世話人	安陪等思
第2回	2010年4月9日（金）	メルパルク横浜	当番世話人	安陪等思
第3回	2011年10月21日（金）	海峡メッセ下関	当番世話人	安陪等思
第4回	2012年4月13日（金）	メルパルク横浜	当番世話人	清末一路
第5回	2013年4月12日（金）	メルパルク横浜	当番世話人	清末一路
第6回	2014年4月11日（金）	メルパルク横浜	当番世話人	高山勝年

プログラム

1. 当番世話人挨拶(18:00~18:05)

高山 勝年 (医真会八尾総合病院)

2. 講習会(18:05~18:30)

座長 安陪 等思(久留米大学 放射線科)

脳神経領域におけるエンボスフィア®の適正使用に関する講習会

演者 清末 一路 (大分大学 放射線科)

共催 日本化薬株式会社

セッション I (18:30~19:00)

座長 飯塚有応(東邦大学医療センター大橋病院放射線科)

1. 上顎全摘腹直筋皮弁再建術後に小脳出血で発症し direct carotid-cavernous fistula の1例

浜松医科大学 放射線科 神谷 実佳

2. 頭頸部動静脈奇形に対するマイクロバルーンアシスト下硬化塞栓療法の有用性と安全性

総合南東北病院 放射線科 青島雅人

3. 新生児ガレン大静脈瘤の治療適応 superior vena cava flow と neonatal evaluation score の検討

東邦大学医療センター大橋病院脳卒中 放射線科 飯塚 有応

セッションⅡ(19:00～19:30)

座長 長畑 守雄

(山形市立病院済生館 脳卒中センター 脳・血管放射線科, *脳神経外科)

4. 急性期脳主幹動脈閉塞に対する機械的血栓回収療法は患者の転帰を改善したか?

山形市立病院済生館 脳卒中センター 脳・血管放射線科, *脳神経外科

長畑 守雄

5. Mo.Ma Ultra を用いた頸動脈ステント留置術 plaque protrusion により治療に難渋した1例

医真会八尾総合病院 放射線科 明珍 薫

6. ランデブーテクニックを用いてステント留置術を施行した左鎖骨下動脈閉塞の1例

奈良県立医科大学 放射線科 和田 敬

セッションⅢ（19:30～20:00）

座長 堀 雄三（永富脳神経外科病院 放射線科）

7. 高度脳血管攣縮を伴った前交通動脈破裂動脈瘤に対するコイル塞栓術
—いつ治療を行うべきか—

永富脳神経外科病院 放射線科 堀 雄三

8. 短径 1.3 mm の破裂内頸-後交通動脈分岐部動脈瘤に対して塞栓術を施行した 1 例

産業医科大学 放射線科 森谷 淳治

9. 破裂椎骨動脈脳底動脈合流部動脈瘤に対してコイル塞栓術を施行した
1 例

医真会八尾総合病院 放射線科 明珍 薫

閉会の挨拶

代表世話人 安陪 等思（久留米大学）

会場アクセス

メルパルク横浜 〒231-0023 横浜市中区山下町 16

TEL: 045-661-8151

地図 & 交通のご案内

Access



みなとみらい線元町・中華街駅 4 番口から徒歩 1 分

JR 石川駅下車(元町口)より徒歩 12 分

協 賛 企 業

エーザイ株式会社

(株)カネカメディックス

コヴィデエンジャパン株式会社

GEヘルスケア・ジャパン株式会社

シーメンス・ジャパン株式会社

ジョンソン・エンド・ジョンソン株式会社

第一三共株式会社

日本ストライカー株式会社

テルモ株式会社

バイエル薬品株式会社

メディキット株式会社

株式会社メディコスヒラタ

(アイウエオ順)